



神奈川県畜産情報

発行所
神奈川県畜産会
横浜市磯子区西町14-3
畜産センター内
電話 045(761)4191
FAX 045(759)1162
発行人
志村善一

神奈川県畜産会のホームページ
「かながわ畜産ひろば」
[http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm]

毎月1回(1日)発行
〔神奈川県畜産情報(平成18年1月号以降)はホームページでもご覧になれます〕

定価1部10円(1年100円)
会員の購読料は会費を含む

第四回神奈川県「わくわくモーモースクール」を開催

子どもたちが乳牛とのふれあいを通じて命の尊さや食の大切さを学ぶ、「わくわくモーモースクール」を県酪農教育ファーム推進委員会(事務局 県酪農業協同組合連合会)が主催で、平成二十四年二月二十三日(木)、大和市立大野原小学校(大和市上草柳)にて開催した。



県内の酪農家七名と親牛二頭、子牛二頭とともに訪れ、日本大学の生物資源科学部の方々の協力を得ながら、乳搾りや子牛のブラシが体験のほか、「餌の話」「道具の紹介」「牛の一生」「牧場の仕事について」など生乳生産に関する話を聞いた。

また、教室では乳業メーカーの協力を得て、「工場では牛乳が製造され、学校に届くまでの過程」のVTRの放映(株明治)や「生乳からどの様な食品が作られているか」の話(森永乳業)を行い、製品なども展示した。

体育館では、バター作り体験(雪印メグミルク(株)・タカナシ乳業(株))を、全学年が実施し、自分達で作ったバターをクラッカーに塗り試食をもらった。

この他、農林政部畜産課・県農業技術センター畜産技術所・県大野山乳牛育成牧場の方々により、牛の体の構造についての授業を行った。

朝から雨が降り、とても寒い一日でしたが、このわくわくモーモースクールに参加した児童七百九十名は、「おおい」「かわい」「あったかい」と言いながら、命を感じとっているようだった。父兄らは「子どもたちにとって貴重な体験ができました」「食について良く学べた」「私達も体験したかった」など話していた。

一方、学校側では、「子どもたちがとても楽しそうだ」「牛乳の飲み残しが明日から減ると思う」「良い食育ができました」「わくわくモーモースクールを開催して良かった」などと話していた。

去る一月に開催されたJA原発事故損害賠償対策協議会第七回幹事会で、東電は本県の「風評被害」請求に対して、福島原発との相当因果関係が認められないことを理由に賠償対象外扱い(「補償ゼロ」とした)。県協議会は、今後の対応を検討する場として「牛肉部会」を新たに設置し、二月十三日に第一回を開きました。

部会には、生産者代表三名、県畜産会専務・経営指導部長、JA中央会、全農かながわ畜産部長・課長、オプザバーとして県畜産課二名が出席。原発事故との相当因果関係を客観的に立証する必要があるため、①市場等実需者からの受け入れ拒否の有無 ②消費者の買い控え行動の有無 ③個人別収入額の下落状況などを新たな事実として積み上げることを確認しました。

比較や、全頭・全戸検査による市場受け入れ頭数の減少が価格に反映されたこと(出荷頭数制限により価格が据え置かれ、買い控え行動による価格下落を見えづらくした。)についても事実確認することとしました。今後、第二回牛肉部会を開催し、事実関係を明確後、東電と折衝を進めることとしました。さらに、本県同様、風評被害請求の補償ゼロ回答を受けた長野県や山梨県などとの連携を図ることとしています。

(県畜産会専務理事 丹波)

新マルキン事業

平成二十三年第三四半期
(十二月販売分の補てん金単価)

去る一月十日に、平成二十三年十二月販売分に対する肥育牛一頭当たりの肥育牛補てん金単価の算定結果が農畜産業振興機構より公表されました。

- 平均粗収益
 - 肉専用種 七九一、一三七円
 - 交雑種 四四一、〇三八円
 - 乳用種 二二四、六八八円
- 平均生産費
 - 肉専用種 八五五、二九四円
 - 交雑種 六三三、二三五円
 - 乳用種 三五八、二八〇円
- 肥育牛補てん金単価(平均粗収益と平均生産費の差額の八割)
 - 肉専用種 一五三、七〇〇円
 - 交雑種 一〇六、八〇〇円

★補てん金交付日
平成二十四年二月二十二日
(経営指導部 倉迫)

肉用牛技術講習会の開催

肉用牛肥育技術向上と経営の安定化を図るため、県畜産課、県酪連、県畜産会、全農神奈川県本部、三浦半島酪連、県畜産技術協会との共催により、講習会及び肉用牛関連事業の説明会を次のとおり開催します。

日時：平成二十四年三月六日(火)
午前十時三十分から
場所：厚木市農協本所 大会議室
厚木市水引二一〇―三八

講演会

「最近の枝肉市況と全国の和牛改良について」
講師(有) 北国肉牛商事
代表取締役 小野健一氏

【説明会】十四時～十五時
「かながわ産牛肉地産地消費推進事業に係る二十四年度事業説明と今後の展望について」(県畜産課畜産振興グループ 仲澤慶紀(主査))

②「農林漁業セーフティネット資金について」(日本政策金融公庫横浜支店農業食品課 矢野太郎氏)
③「東電原発事故損害賠償対策について」(社団法人神奈川県畜産会 丹波義彰専務理事)
(お問合せ 神奈川県畜産会 経営指導部 倉迫)

畜産技術検討会(養豚関係)及び養豚講演会の開催

今後起こりうる諸外国畜産産物との販売競争に対抗できる国産畜産物の生産・販売のあり方を見出すため、県畜産課、県畜産技術所、県畜産会、県酪連、県畜産技術協会、県畜産技術協会との共催により、情報発表会及び講演会を次のとおり開催します。

日時：平成二十四年三月五日
(月) 午後一時から
場所：ザ・ウィングス海老名
海老名市中央一七―一〇
TEL 046-234-1233
(前田高弘 主査)

クイズ遊びで丁々発止国会

「クイズ遊びで丁々発止国会」は、総動員してテンコ舞いしているのに、国会では公務員とその給料を減らす決議をするとのこと。財源確保策ならば、議員自らの削減は無いのだろうか。民主党の偉い人に聞いたら「議員にも生活があるから」と答えていたが、ならば公務員も同じではないか。急いで審議すべき事柄が山積しているのに、議員と大臣との間でクイズ番組の遊ばしを繰り返している。自衛隊の基地のある島「硫黄島」の読み方を大臣に質問。秘書官が「いおうとう」と書いたメモを渡そうとしたら質問した議員が「教えるな」と一喝。きつと鹿児島県の硫黄島「鬼界ヶ島」と混同していないか試したかったので

「教えるな」と一喝。きつと鹿児島県の硫黄島「鬼界ヶ島」と混同していないか試したかったので

「教えるな」と一喝。きつと鹿児島県の硫黄島「鬼界ヶ島」と混同していないか試したかったので

新むらすずめ

「新むらすずめ」は、消費者の豚肉ニーズの違いと購買行動(引地宏一 主任研究員)十五時十分～十七時
《養豚関係団体講演会》
①「エコフィード利用畜産物認証制度について」
(社)中央畜産会
岡部由美子氏
②「エコフィードの利用と畜産の発展戦略」
名古屋大学 生命農学研究科 淡路和則氏
(経営指導部 橋本)

日時：平成二十四年三月五日
(月) 午後一時から
場所：ザ・ウィングス海老名
海老名市中央一七―一〇
TEL 046-234-1233
(前田高弘 主査)

別表1：死亡牛届出連絡先

連絡先(電話番号、FAX)	所管区域
県中央畜産保健衛生所 電話 046-238-9111(代表) 携帯 080-3403-0157 ※ FAX 046-238-9124	横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市、逗子市、相模原市、三浦市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、三浦郡、愛甲郡
湘南家畜保健衛生所 電話 0463-58-0152(代表) 携帯 080-3403-0156 ※ FAX 0463-58-5679	平塚市、小田原市、秦野市、伊勢原市、南足柄市、中郡、足柄上郡、足柄下郡、※藤沢市、高座郡、茅ヶ崎市、※県中央保死牛保管施設へ搬入

※休日のみ、死亡牛の届出は携帯電話をお願いします。

別表2：平成24年度 死亡牛届出受付、受け入れ日程

月	火	水	木	金	土	日
4月						1
	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	
5月						1
	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	
6月						1
	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	
7月						1
	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	
8月						1
	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	
9月						1
	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	

□ 受入日 ■ 閉庁日

競馬の収益金は畜産振興に役立っています。

川崎競馬開催日

4月9日(月)～13日(金)
5月14日(月)～18日(金)
ナイター開催

(県畜産課安全管理グループ)

は？こんなクイズ遊びのやり取りで時間を浪費して、いったい何の積りでしようか。こんな奴等に給料やたくねーよ。一般公務員の給料減らすくらいなら議員報酬や政党交付金の削減を、いや全廃だ。被災地のニュースを聞いていると、宮城県的女川町、南三陸町は町と読み、福島県原近隣町の町、浪江、双葉、大熊、富岡、楢葉、広野は町だそうですね。

島か島か、町か町かどっちでもよさそうな事で丁々発止とクイズ遊びする暇があったら風評被害で苦しんでいる農畜関係の改善対応に全力を挙げてもらいたいものである。因みに村と読むか村と読むかは東北から関東は村、西南にきて岡山、宮崎、鹿児島、そして沖縄は全村が村でした。

あー損したな、こんな奴等を国会に送り込んだら我々国民は、国民は全損だよねー。(忠九朗)

平成二十四年度死亡牛の届出受付、受入日程について
平成二十四年度の家畜保健衛生所における死亡牛(二十四ヶ月齢以上)の届出受付、受入日程を次のとおり(別表：死亡牛届出受付、受入日程)としましたのでお知らせします。

引き続き、死亡牛BSE検査の円滑な実施へのご協力をお願いいたします。

(県畜産課安全管理グループ)

研究情報

和牛子牛の人工哺育

畜産技術所の飼養管理方法

はじめに

乳牛の借り腹で生まれた黒毛和種(和牛)の子牛は、ほとんどが人工哺育されますが、自然哺育の子牛に比べて発育が悪い等の理由から、評価が低いこともありま

た。しかし、和牛子牛のための飼養管理マニュアルが示され、専用の代用乳や人工乳が市販されたことなどから、良好な発育の子牛が得られるようになってい

ます。最近では人工授精によって生まれた和牛子牛に対して人工哺育が行われることもあります。

このようにことから、全国的に酪農家(乳牛)からの和牛子牛の生産や流通が拡大しています。県内でも酪農家による和牛子牛の生産と肉用牛農家への素牛の供給が定着し、既に魅力的な子牛が生産されている地域もあります。一方、和牛子牛に関する情報や経験が少なく、取り組みが進んでいない地域もあります。そこで、これから和牛子牛の人工哺育を始めた

と考えている酪農家への参考として、畜産技術所で実施している人工哺育の方法を紹介します。

与えています。生時体重が小さく、1回の摂取量が少ない子牛もいる

ことから、日量300gから段階的に給与量を増やす方法(図2)を採用しており、子牛の飲み具合やふんの状態を観察しながら、増給を加減したり、最大給与量を調節するなどの工夫をしています。

人工乳の摂取量で離乳時期を決定人工乳は生後3日目から少量ずつ給与し、いつでも食べられるようにしています。毎日の摂取量を量ってみると図3のようになります。

乳牛の子牛に比べると人工乳の摂取量が増えるのは遅いようですが、味を覚えさせるために口の中に手で入れてあげるなど心がけています。人工乳の摂取量が日量600g以上を目安に離乳して

いますが、乳牛に比べると哺乳期間は長めになってしまふことが多いようですが、ほとんどの子牛は50日程度で離乳しています。人工乳の摂取量が増えてこない子牛には

人工乳の増給も代用乳と同様にふんの状態を見ながら徐々に増やしています。また、人工乳の摂取量の増加には水の摂取が不可欠です。実際に量ってみると、哺乳中でも多い牛は1日に2kg近くの水を飲んで

に哺乳中から用意しています。

乾草は哺乳期から少量を給与栄養充足と第一胃絨毛の発育を促すためには穀類(人工乳)の摂取を増やす必要があり、そのため乾草の給与を控えるという考え方もありますが、乾草を全く給与

しない子牛ではおがくずや牛舎内の木材などを食べてしまい、かえって下痢や消化不良の心配が増してしまいます。そこで、哺乳中の子牛にも少量の乾草を給与するようにしています。第一胃内環境の安定と異物の摂取を抑えること

が目的です。細断したチモシー乾草やスーダン乾草の葉の部分などを100g程度を上限に給与しています。離乳後は乾草を飽食にし、日齢とともに摂取量が増えていきます。また、人工乳から育成配合への切り替えは91日

齢(13週)から1週間程度かけて行っています。

その他にも、発育や飼料摂取を停滞させないために、飼料を変更した週には飼養場所を変更しないなど、牛のストレスを重複させないようにしています。また、冬期には、牛舎内の換気と保温、代用乳の温度低下にも注意して

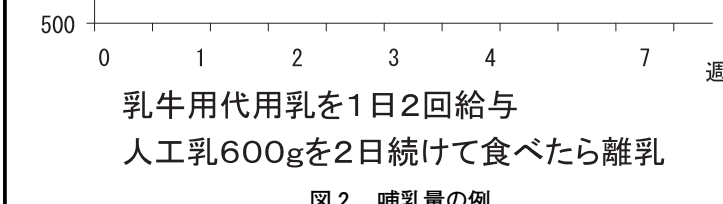


図1 人工哺育のスケジュール

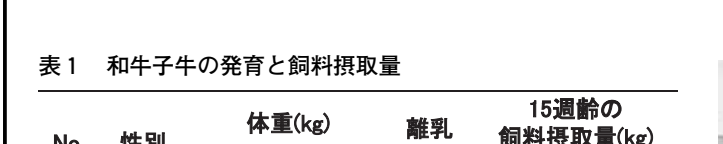


図2 哺乳量の例

Table 1: Development and feed intake of beef calves. Columns include No., Sex, Weight (kg) at 0 and 15 weeks, Weaning age, and Feed intake (kg) at 15 weeks (Growth mixture and Hay).

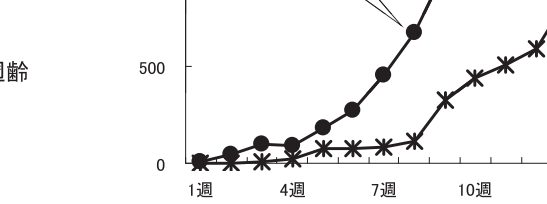


図3 飼料摂取量の推移



人工哺育中の子牛

先月末に恒例の火入れを実施しました。当日は晴天に恵まれ、風もほとんどなく絶好の日和でした。火入れ場所は例年と同じ「まきば館」から頂上に向かっての左右の斜面です。火入れで一番大事な点火作業です。火の道筋を讀んで判断し、うまい時期にばつ、ばつと斜面をすばやく移動しながら点火してゆきます。適役の火付け二人はベテランの地元出身者にお願ひしました。昨年は真下から火を付けてしまったので、上の牧柵に列に並んだ消防部隊の頭を越えて後ろの草地に飛び火したりと、火が強すぎて消防部隊がでんやわんやでしたが、今年には慎重に慎重に斜面途中から点火して、上部を焼いた後、下を焼くといった作業を何編か繰り返して、小面積ごとに火入れを行いました。おかげで時間はかなりかかりましたが、安全に終了することができました。とは言っても火入れ場所には、可燃性の配管もむき出しになっているところもあるので、ここは死守せねばなりません。動力噴霧器で放水しながら、下から吹き上げてくる熱風をじつと我慢しながら人海戦術でスコップで大急ぎで泥をかけて鎮火しましたが、息もできないぐらいの烈風はすさまじいものでした。この熱のおおもと植物が光合成で蓄積したあの夏の太陽エネルギーなのかと、つくづく感心した次第です。さて、太陽エネルギーのおおもと利用といえば、大野山牧場では今年もだるまストーブが活躍しています。燃料調達のため、ゴルフ場にまき集めに行きました。場所は静岡県小山市にあるゴルフ場片道三十分ちよつとです。伐採して幹を集積した所へ行きます。世間でもまきストーブが流行しているのかライバルが増加中。ゴルフ場では以前は焼却処分していたので、薪利用は双方にとってメリットです。環境に優しいエコ対策です。事務所のゴミブリが減ったという声もありますが、書類などが燻製臭くなるデメリットがあるかもしれません。

大野山たより 先月末に恒例の火入れを実施しました。当日は晴天に恵まれ、風もほとんどなく絶好の日和でした。火入れ場所は例年と同じ「まきば館」から頂上に向かっての左右の斜面です。火入れで一番大事な点火作業です。火の道筋を讀んで判断し、うまい時期にばつ、ばつと斜面をすばやく移動しながら点火してゆきます。適役の火付け二人はベテランの地元出身者にお願ひしました。昨年は真下から火を付けてしまったので、上の牧柵に列に並んだ消防部隊の頭を越えて後ろの草地に飛び火したりと、火が強すぎて消防部隊がでんやわんやでしたが、今年には慎重に慎重に斜面途中から点火して、上部を焼いた後、下を焼くといった作業を何編か繰り返して、小面積ごとに火入れを行いました。おかげで時間はかなりかかりましたが、安全に終了することができました。とは言っても火入れ場所には、可燃性の配管もむき出しになっているところもあるので、ここは死守せねばなりません。動力噴霧器で放水しながら、下から吹き上げてくる熱風をじつと我慢しながら人海戦術でスコップで大急ぎで泥をかけて鎮火しましたが、息もできないぐらいの烈風はすさまじいものでした。この熱のおおもと植物が光合成で蓄積したあの夏の太陽エネルギーなのかと、つくづく感心した次第です。さて、太陽エネルギーのおおもと利用といえば、大野山牧場では今年もだるまストーブが活躍しています。燃料調達のため、ゴルフ場にまき集めに行きました。場所は静岡県小山市にあるゴルフ場片道三十分ちよつとです。伐採して幹を集積した所へ行きます。世間でもまきストーブが流行しているのかライバルが増加中。ゴルフ場では以前は焼却処分していたので、薪利用は双方にとってメリットです。環境に優しいエコ対策です。事務所のゴミブリが減ったという声もありますが、書類などが燻製臭くなるデメリットがあるかもしれません。

(大野山乳牛育成牧場長 青木)

おわりに 今回は畜産技術所で実施している和牛子牛の人工哺育の方法をひとつの例として紹介しましたが、健康な子牛を育てるために各地域や農家毎の状況に合わせた方法を選択することが最も重要だと思います。畜産技術所では和牛子牛の発育促進や下痢防止を目的とした乳酸菌やオリゴ糖の給与に関する研究を行っています。これらの研究成果については次の機会に紹介させていただきます。

また、和牛子牛に関する記事をまとめた資料を当所の普及指導課が作成していますので、興味のある方は是非お問い合わせ下さい。(農業技術センター畜産技術所 企画研究課 秋山清)

二重の壁で防疫を 近年、空海港の整備が進み、とても手軽に海外旅行ができるようになりました。しかし、海外では多くの家畜伝染病が発生しているため、人や物、動物の行き来が増加するにつれ、病原体が海外から国内に持ち込まれるリスクが高まりつつあります。実際に我が国では、昨年度、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等の伝染性疾病が発生し大きな被害をもたらしました。

では、これらの伝染性疾病が、国内に持ち込まれるのを防ぐため、どのような対策が実施されているか、皆さんご存知でしょうか。日本へ輸入される動物や畜産物は、空海港で様々な検査を受け、病原体がないことを確認してから輸入されています。また、日本に入国する海外旅行者等が、持っている荷物の中から肉製品等を嗅ぎ分けて発見する検疫探知犬を使つた検査や、入国する際に人が必ず通過しなければいけない場所に消毒マットを設置して靴底の消毒等が実施されています。

これらの対策に加え、平成二十三年四月の家畜伝染病予防法改正により、平成二十三年十月から入国者に対して、海外滞在時に畜産関連施設へ立ち入ったか等を質問し、必要に応じて衣服や靴などを消毒することも出来るようになり、海外から病原体が侵入するのを防ぐための「水際の壁」がさらに強化されました。

しかし、病原体は、いつ、どのようにこの壁を越えて日本に侵入するかわかりません。家畜の所有者の方は、「水際の壁」に頼りきらず、日頃からの消毒等の衛生対策を実施して「農場の壁」を作り、水際と農場の二重の壁で海外からの伝染性疾病の侵入を防ぎましょう。

家保だより 先月末に恒例の火入れを実施しました。当日は晴天に恵まれ、風もほとんどなく絶好の日和でした。火入れ場所は例年と同じ「まきば館」から頂上に向かっての左右の斜面です。火入れで一番大事な点火作業です。火の道筋を讀んで判断し、うまい時期にばつ、ばつと斜面をすばやく移動しながら点火してゆきます。適役の火付け二人はベテランの地元出身者にお願ひしました。昨年は真下から火を付けてしまったので、上の牧柵に列に並んだ消防部隊の頭を越えて後ろの草地に飛び火したりと、火が強すぎて消防部隊がでんやわんやでしたが、今年には慎重に慎重に斜面途中から点火して、上部を焼いた後、下を焼くといった作業を何編か繰り返して、小面積ごとに火入れを行いました。おかげで時間はかなりかかりましたが、安全に終了することができました。とは言っても火入れ場所には、可燃性の配管もむき出しになっているところもあるので、ここは死守せねばなりません。動力噴霧器で放水しながら、下から吹き上げてくる熱風をじつと我慢しながら人海戦術でスコップで大急ぎで泥をかけて鎮火しましたが、息もできないぐらいの烈風はすさまじいものでした。この熱のおおもと植物が光合成で蓄積したあの夏の太陽エネルギーなのかと、つくづく感心した次第です。さて、太陽エネルギーのおおもと利用といえば、大野山牧場では今年もだるまストーブが活躍しています。燃料調達のため、ゴルフ場にまき集めに行きました。場所は静岡県小山市にあるゴルフ場片道三十分ちよつとです。伐採して幹を集積した所へ行きます。世間でもまきストーブが流行しているのかライバルが増加中。ゴルフ場では以前は焼却処分していたので、薪利用は双方にとってメリットです。環境に優しいエコ対策です。事務所のゴミブリが減ったという声もありますが、書類などが燻製臭くなるデメリットがあるかもしれません。

(大野山乳牛育成牧場長 青木)